

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第 26 号

発行日：平成三年五月一日

発行者：西成連区地域づくり協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28—9002

誰もが安心して暮らすことができる 西成連区を目指して

ご近所の絆「見守りネットワーク」事業が始動

西成連区地域づくり協議会の今年度の新規事業は、平成11年に西成連区で生まれた「見守りネットワーク」を再構築し推進することになりました。この、ご近所の絆「見守りネットワーク」事業の協力者は、向こう三軒両隣に「気配り・目配り・声掛け」のできる、西成連区内に住む私たちです。詳しくは、各町会からご案内がありますが、概要をご紹介します。

■ご近所の絆「見守りネットワーク」とは？

私たちが生活している連区や町内を、「誰もが安心して暮らせる、安全なまち」にするために、町会長を初めとする各種団体が、地域住民の協力を得て、相互に助け合い、見守り支えあうことで、温もりの溢れる地域「西成」を目指したものです。

■どんな活動をするの？

一人暮らしの老人、夫婦だけの老々世帯、寝たきりの障害者世帯など「要援護世帯」に、向こう三軒両隣はもとより、地域住民が「気配り、目配り、声掛け」をする。

■対象者は？

①一人暮らしの老人・夫婦だけの老々世帯 ②寝たきりや障害を持った方を自宅で介護し、手助けが必要な世帯 ③家族が働きに出ていて、一人になってしまうお年寄りのいる世帯 ④両親が共稼ぎで、子どもだけが留守番をしている世帯 ⑤母子・父子家庭、児童支援家庭 ⑥児童虐待など見守りが必要な世帯…など。

■ご近所の絆「見守りネットワーク」の協力者は？

①対象者の隣近所の方（向こう三軒両隣）②町内会長、町会長、隣組長、班長 ③老人会組織（クラブ長、役員）④民生児童委員、主任児童委員 ⑤女性の会…など。

■具体的にどうするの？

①朝になっても雨戸やカーテンが開かない ②夜になっても電気がついてない ③新聞、郵便物、牛乳などがたまっている ④このところ姿を見かけない…など、気になることや不安を感じるがあったら、町会長や組長、民生児童委員さんなどに連絡してください。問題解決のため関係先とも相談して、適切な対応を行います

■ 校歌シリーズ⑦ ■

校歌には、その校区の特性が詠み込まれています。西成連区5小学校、3中学校の校歌を、順次ご紹介いたします。

一宮市立西成東部中学校校歌
(昭和53年制定)

作詞：制定委員会
作曲：森 一也

1 朝日に映える 伊吹の山よ
山容ただしく 歴史を顧れば
剛健 自学 理想はたかく
若人われらの 集う学び舎
ああ 夢あり 夢あり
西成東部中学校

2 水音さやに 流れる木曾よ
しらべただしく 脈うついのち
敬愛 奉仕 目標はたかく
若人われらの 集う学び舎
ああ 歌あり 歌あり
西成東部中学校

3 白鷺翔ける さ青の空よ
友の呼び声 声たからかに
勉学ここに 未来を指して
若人われらの 集う学び舎
ああ 栄光あり 栄光あり
西成東部中学校